



今、なぜ中核病院が必要なのか 市長との意見交換会を開催します ～市長と話そう！萩の医療のこと、中核病院のこと～

市では、将来にわたり市民が安心して医療を受けられるよう、中核病院づくりについて検討を進めています。

市長から萩の医療の現状や中核病院づくりについて説明を行い、市民の皆さんからのご意見などを直接お聴きする意見交換会を開催しますので、ぜひご参加ください。

日 令和3年1月11日(月) 13:30～15:00

※事前申込制

場 総合福祉センター 多目的ホール

内 市長から中核病院づくりについて説明し、市民の皆さんからのご意見をお聴きします。

申 1月6日(金)までに、中核病院形成推進室へ電話・FAX・メールのいずれかで氏名・住所または所属団体・電話番号を連絡

問 中核病院形成推進室 ☎ 21-3120 FAX25-1520
メール tyuukaku@city.hagi.lg.jp

・何でも診てくれる総合診療専門医の設置や、遠隔で専門医が診てくれるリモート診療の導入を検討してはどうか。

・若い医師の確保が大事
山口大学や自治医科大学とも連携し、医師を確保してほしい。

・魅力ある病院でなければ若い医師は来ない。医療の充実を図ってほしい。

・将来人口が減る中で、財政面を考えなければ、病院ができては続かないのではないかな。

・高齢者にも分かりやすく説明し、市民全員で考えてもらうような仕組みづくりをしてほしい。



○これまでに市に寄せられた主なご意見

・中核病院は必要。市民の命に関わることであり、例え不採算であっても、萩の医療を守ってほしい。

・中核病院づくりは待ったなしの問題であり、早く進めてほしい。

・医療が充実していれば、多くの方が安心して暮らせ、まちづくりにつながる。

・市外で受けている専門的な医療（高度な医療）が市内で受けられるようにしてほしい。

・かかりつけ医と中核病院、大学病院等の市外の医療機関がしっかり連携してほしい。

■中核病院なんでもトーク

地域や団体の集まりなどで、市職員が中核病院づくりについて説明し、意見を伺う「中核病院なんでもトーク」を行っています。ご要望がありましたら、中核病院形成推進室までお知らせください。

新型コロナウイルス感染症の自費検査

問 地域医療推進課

☎ 25-2182

感染しているかどうか不安な方は、発熱などの症状がなくても自費で検査を受けることができます。

■対象者 発熱などの症状がない方

■検査機関 公益社団法人山口県予防保健協会
(山口市吉敷下東3丁目1番1号山口県総合保健会館3F、☎083-933-0008ダイヤル「4」)

※検査結果が陽性の場合、県の保健所から連絡があり、指定医療機関に入院することになります。

※発熱や咳などの症状のある方は、市内医療機関に事前に電話して受診してください。

※抗原定量検査は、PCR検査と比べて検出感度は若干下がります。(山口県予防保健協会HPより)

■検査の受け方

検査場所	山口県予防保健協会	萩市休日急患診療センター
実施日	平日9:00～12:00	12月1日以降の 平日9:00～12:00
検査手順	事前予約をしてから 予防保健協会へ	事前予約してから急患センターへ。 検体を採取し、検査機関へ取り次ぎ、後日、検査結果を郵送。 ※検査費用も当日預かり
検査内容と費用	【PCR検査】 ⇒27,500円 (結果:3時間程度) 【抗原定量検査】 ⇒10,780円 (結果:1時間程度)	・抗原定量検査(唾液) ⇒10,780円と84円切手 (検体採取後、2日以内に結果郵送)